

「予算委員会のテレビ中継中止の自民案が可決 情報公開と議会の見える化が一步後退」

みなさま、こんにちは。千葉県議会議員 松戸市選出 安藤じゅん子です。千葉県議会9月定例会議が9月14日～10月11日まで開催されました。今回の議会では、予算委員会の2日目以降の千葉テレビの中継が中止となることになってしまいました。これは自民党が提案していたもので、自民党以外の各会派は、テレビ中継は継続すべきで、中止を反対していたにもかかわらず、採決されてしまい、予算委員会は1日目の総括質疑以外は中継されないことになってしまいました。テレビ中継をやめることは、情報公開という時代の流れに逆行しており、議会の見える化からも遠のいてしまいます。みなさんはどのようにお考えでしょうか？



災害の危険周知の徹底を！

安藤じゅん子一般質問に登壇

わずか7.4%の千葉県の公表率を上げるべき

平成29年9月定例会議会
(9月14日～10月11日)

9月27日の一般質問に安藤じゅん子が登壇しました。

「消防・防災について」「医療・福祉・子育てについて」「教育行政について」「電子申請について」「選挙について」の5項目について質問いたしました。

消防・防災について

①大規模盛土造成地マップ、②家具の転倒防止対策、③消防士の採用時における色覚検査について質問しました。

とくに、大規模造成宅地の盛土調査は、滑動崩落などを未然に防ぐためにも住民の安全上、極めて重要であり、安藤じゅん子は今回の一般質問の最初の質問に選びました。

質問 「国が進める大規模盛土造成地マップについて、公表率（千葉県はわずか7.4%）を上げるべきと思うかどうか？」

答弁 「全ての盛土地を示した盛土マップを県の防災ポータルサイト上で公表しているが、国が規定する大規模盛土造成地マップの公表率を上げることも重要と考えており、引き続き、市町村に作成を働きかけるとともに、県の支援策等についても検討してまいります」（都市整備局長）

安藤要望 「千葉県が7.4%と公表している市町村割合だが、現在、公表率が70%を超えている都道府県は、おおむね県レベルが主体となって調査を進めている。千葉県も県が主体となっていただきたい」

医療・福祉・子育てについて

①病院の多言語対応、②福祉作業所に水道メーター分解作業を委託すること、③子育て支援に関する質問をしました。

病院の多言語対応については、対応している医療機関があるにもかかわらず、検索システムが多言語対応していないため、外国の方が検索できないという事実があり、質問しました。

質問 「本県では、外国人が安心して医療機関を受診できるような多言語対応の環境にあるか？」

答弁 「4月1日現在で、病院は全体の61%、診療所は全体の44%が何らかの外国語対応が可能。しかしインターネット検索システム「ちば医療ナビ」が外国語対応となっておらず、十分な体制でないことは認識している。他県の状況も参考にしながらホームページの改善を検討する」（保健医療担当部長）

安藤要望 「医療ナビの外国語対応」はもちろんのこと、高い専門性を必要とする医療通訳や医療機関の未収金対策などにも県として支援を行っていただきたい」

県立高校トイレの洋式率が全国で下から4番目！ 明確な目標を設定し、洋式化を進めるべき

教育行政について

①スクールカウンセラー、②県立高校のトイレ洋式化率について質問しました。

平成29年4月現在、千葉県の県立高校のトイレ洋式化率は**日本で下から4番目に低い24.0%**です。このような低い数字を改善していくためには、目標を設定し、整備していくことが重要であると考えています。

質問 「整備方針において目標を設定し、生徒や学校と協議することがトイレ洋式化率を上げていくことに資すると思うがどうか？」

答弁 「県教育委員会では、県立高校のトイレの洋式化に関する整備方針を定めていないが、学校と相談しながら洋式化を図っている。校舎等の大規模改修を実施する際に併せて実施していきたいと考えている」（教育長）

電子申請について

①ちば電子申請システムの利用状況、②システムの利用拡大に関する質問をしました。

千葉県には、インターネットを利用して行政手続きができる「ちば電子申請システム」というものがあります。ところが、県内自治体においては「ちば電子申請システム」のサービス利用が進んでいないという状況です。

質問 「ちば電子申請システムの利用状況はどうか？」

答弁 「システムを利用開始した5年前の平成23年度と比較すると、手続き数は約1.4倍、利用件数は約5倍に増加している」（森田健作知事）

安藤要望 「利用可能な手続きを市町村に周知するなど、システムの利用拡大を図るべきと思うがどうか？」

答弁 「手続き及び利用件数は増加しているが、利用団体の数は横ばいとなっている。今後は導入に伴う費用対効果や事務手続きに関する助言を行うなど、システムの利用拡大に取り組んでまいります」

安藤じゅん子 プロフィール

安藤じゅん子(民進党千葉県議会議員 松戸市選出) 1976年生まれ、地元小中・公立女子高校・早稲田大学・出版社営業を経て2010年より松戸市議会議員。2015年より千葉県議会議員。商工労働企業常任委員会(2015～2017年)、文教常任委員会(2017年～)。千葉県議会定数等検討委員会、女性議員の会。

皆様のご意見、ご要望をお聞かせください

ホームページ、ツイッター、facebookページなどで受け付けています。
お気軽にご相談ください。



選挙について

無投票選挙の候補者の選挙公報のネット公開に関する質問をしました。

無投票選挙は、有権者が投票機会を失ってしまうため、県議会議員選挙において、無投票選挙区の解消を目指すべきであると考えています。しかし実際の選挙ではいくつかの選挙区が無投票選挙区になってしまうという現実があります。

選挙公報のネット公開について現在、投票された選挙については選挙公報は選挙期間中に全戸配布されたり、公共施設などで配布され、選挙後も選管ホームページ上で公開され続けています。

しかし、**無投票となった選挙においては、選挙公報は発行されず、ネット公開も行われていません。**無投票だからといって、立候補者が政策を有権者に伝えなくてはならず、選挙公報の発行など地元有権者に対して、当選者の4年間の政治活動の狙いを広く知っていただく必要があると思っています。

質問 「無投票選挙の場合にも選挙管理委員会に提出された選挙公報の原稿をネット公開すべきだと思うがどうか？」

答弁 「選挙公報は、投票する際の判断材料を提供するために発行されるもので、無投票の場合に選挙公報の原稿をウェブサイト等に掲載する必要はない。現在ウェブサイトに掲載しているものは、選挙の啓発や周知活動で行っているものではなく、過去の記録として、公開をしているものである」（選挙管理委員会委員）

ホームページ

<http://andojunko.net/>

ツイッター

<https://twitter.com/andojunko>

Facebook ページ

「安藤淳子と少子化・子育てを考える会」

<https://www.facebook.com/andojunko0529/>

FAX: 050-3488-7708

Eメール: contact@andojunko.net